

ふれあい!

日本

当財団は実習生はじめ皆さんの日本語学習を強力にサポートします

「ふれあい！日本」は、技能実習生の皆さんが「技能の習得」と同時に学んでいる「日本文化への理解」「日本語の習得」について、受入れ企業において実践されたとりくみを好事例として紹介しています。第3回の今号では、「巨大銭形の砂絵」「ガタリンピック」に参加した皆さんの奮闘をご紹介します。

香川県観音寺の「金運スポット」!?

うどんだけじゃない、観音寺市には銭形砂絵「寛永通宝」があります。有明浜に描かれた砂絵は、東西122m、南北90m、周囲345mの巨大物です。寛永十年に藩主 生駒高俊公を歓迎するために一夜で作られたと言われ、見ると健康で長生きし、お金に不自由しないとの諸説あり。毎年、春と秋に市民の協力による砂絵の化粧直しが行われます。4月29日にベトナム人実習生と通訳さんが地域社会との交流として砂ざらえに参加との話をいただきました。

いざ、砂絵の中に入ると見渡す限り高い砂の壁に囲まれ、人力で砂をかき上げるもどこで何をどうしているのか見当がつかない状況ですが、全貌は、山頂の銭形展望台より眺めて初めてわかります。日々の工場内での作業から、野外での作業は大いに気晴らしになったのか、みんなの笑顔が印象的でした。

日本での様々な経験が、実を結ぶように企業さんも私達も応援しています。



集合した実習生たちです



人力で砂をかき上げます



「砂ざらえ」に参加しました



銭形砂絵の全景です

次回予告!

愛媛県は砥部焼が有名です。日本語学習（日本文化を学ぶ）として今井タオル(株) 配属の実習生が、5月30日(火)にさくら学習センターにて職員の手導のもと絵付け体験をしました。次号に参加者の作文を紹介予定です。



佐賀県鹿島「ガタリンピック」に出場しました

この度、佐賀県鹿島市で毎年初夏に行われるスポーツイベント「鹿島ガタリンピック」に出場しました。2023年6月4日(日)に4年ぶりの開催となり多くの団体や企業も参加しました。日本一干満の差が大きい(6m) 広大な有明海の干潟を利用した、干潟の上で行うさまざまな競技が行われるユニークな運動会がガタリンピックです。県内外や海外15ヶ国から約60人を含む約1,500人が競技に挑んで、約25,000人の観客の声援で盛り上がっていました。(株)サンデリカ佐賀事業所も従業員とともに実習生(3期生)の8名が競技8種目の内、女性限定の個人競技のHAKKEYOIに出場し、丸い発砲スチロールの上に10名が押し相撲で、お互いに押し合って最後に残った一人が勝ちです。最後に残った一人から勝ち上がるトーナメント制で優勝までには8回の戦いがあります。初戦ではゴック・アインが勝ったと思いましたが先に手を付いていたため反則で失格となり、ティ・フーンが繰り上げで残りました。その後は勝つことが出来ませんでした。全身泥まみれで楽しむ姿に同僚も歓声、拍手を送っていました。地元のケーブルTVからのインタビューで感想を聞かれて「ルールも分からないまま参加して楽しかったです。いい思い出となりました」とのことでした。この出場によって、地域社会とのふれ合いの日となりました。



泥だらけとなった実習生6名。右側から赤いシャツ「グエン ティ チュック ザン」、ピンクシャツで両手ピース「グエン ティ アイン」、ピンクシャツ「レー グエン ゴック トー」、黄色シャツ「グエン ティ ホン ニュン」、緑シャツ「ドーレー ゴック アイン」、青いシャツ「グエン ティ トウ スーン」



開始前はまだまだきれい



始まるとたちまち泥だらけ



丸い台座の上で

※ガタリンピックは40年前から開催、今年で39回、会場「道の駅 鹿島」、屋台も出店、報道取材、前回は1期生が参加しました。